

## 進んで学び、豊かな心とたくましい力をもつ子どもの育成 ～3つの花（やる気・なかよし・元気）をさかせるために～

### <めざす学校像>

#### 子どもの力が伸びる学校

- 【さ】さわやかなあいさつを交わす学校
- 【や】やる気にあふれる学校
- 【が】学力をつける学校
- 【た】互いを思いやる学校
- 【に】にこやかな笑顔絶えない学校



### <ユネスコスクールの役割>

#### 持続可能な開発目標（SDGs）

- ・ホテルを通じた環境教育（ホテルの飼育・活動報告、ゴミO運動）
- ・国際交流（英の小学校との異文化交流）

### 「めざす子ども像」

- 思いやりがあり、仲よくできる子ども  
誰にでも進んで挨拶ができ、友だちにも優しい言葉をかけることができる子ども
- 健康で何事にも全力で取り組む子ども  
元気よく遊び、生活習慣を身に付けた子ども（早寝、早起き、朝ごはん）
- 進んで学び、よく考える子ども  
先生や友だちの話をよく聞き、自分の考えをうまく伝えたり発表したりできる子ども

### <めざす教師像>

#### 信頼と責任と協力の精神に支えられた 創造的で明るい教職員集団

- ・子どもの力を伸ばすために、日々の授業を大切にし、学び続ける教師
- ・子どもに「大切さ」を教える教師
- ・子どもに明るく接し、温かい言葉をかける教師
- ・子どもとよく遊び、共に汗を流し、きびきびと行動する教師



### 校内OJTの推進

- ・校内研究主題の推進
- ・自主研修（教育C）の推奨
- ・参観授業の推進
- ・「教師のしおり」等の活用

## 社会に開かれた鞘ヶ谷小「カリキュラム・マネジメント」の実現

### 教育活動の推進による 「知・徳・体」の向上

#### <学力・体力向上、心の育ち>

- ・学習規律の徹底
- ・各教科等での資質・能力の育成と主体的・対話的な深い学びの視点からの授業改善
- ・一人一人の教育的ニーズに応じた適切な指導（「可能性を生かす・引き出す教育」の推進）
- ・家庭学習、補充学習の充実（自学ノート、算数・新聞チャレンジボックス）
- ・「私の道徳」、「新版 いのち」等を活用した「特別の教科道徳」の時間の質的向上
- ・体力アップチャレンジウィークの実施（体幹トレーニングの実施）
- ・なわとび集会の実施
- ・鞘っ子マラソン大会の実施

### 「チーム鞘ヶ谷」としての 組織力の強化

#### <リスクマネジメント>

- ・危機管理体制の構築（学校事故への対応⇒児童の生命を最優先）
- ・保護者、地域からの要望・意見対応（傾聴）
- ・「体罰のない学校をつくるために」の活用（全職員による生徒指導の4つの共通理解）
- ・個人情報取扱いの徹底
- ・学校におけるハラスメントの根絶
- ・SCの有効活用及び関係機関との連携
- ・特別な支援を必要とする児童への支援体制
- ・**（一人ひとりを大切に、一つ一つをていねいに）**
- ・小中一貫連携教育の推進（情報交換会の実施）
- ・働き方改革における業務改善の推進（一人にさせない職員集団の形成）

### 保護者や地域との連携の推進

#### <情報共有・協働>

- ・学校からの情報発信の推進（学校だより、学年・学級通信、保健だより、給食だより、学校HP更新等）
- ・PTA行事・地域行事への児童、教職員の積極的参加（ほたる祭り、市民C文化祭等）
- ・特色ある学校づくりのための地域人材の活用（ホテル飼育、学校菜園、食育学習等）
- ・学校・ブックヘルパーの活用（安全指導、読み聞かせ等）
- ・花を育てる活動（地域で環境を学ぶ）
- ・地域対策本部事業の活用
- ・外部団体（小学校応援団等）による取組

# 靴っ子のための新しい学び、変わらない学びとは？

【新学習指導要領の全面実施に向けて】

2020年度から順次、実施される新しい学習指導要領。その中心となる理念は、「新しい時代に必要となる資質・能力の育成」である。

70年前の「学習指導要領」

民主主義国家の創設という社会の変化を踏まえた知識・技能に偏った画一的な教育



## ◆「新学習指導要領」の方向性

- 「社会に開かれた教育課程」の実現
- 各学校における「カリキュラム・マネジメント」の実現

## ◆育成すべき資質・能力の3つの柱の育成

- 「知識・技能」の確実な定着
  - 「思考力・判断力・表現力等」
  - 「学びに向かう力 人間性等」
- 「生きる力を育むため、何のために学ぶのか」の意義を教科等で共有

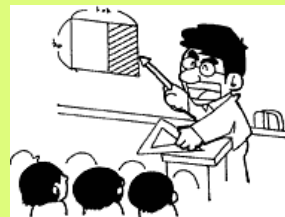
【学校教育に求められていること】

知識・技能の習得だけでなく、それらを活用する資質・能力の育成である。また、社会で起こっている様々な課題を発見し、問題を解決していくために「カリキュラムマネジメント」と「授業改善・研修」を行い、「主体的・対話的で深い学び」を実現する必要がある。

そこで、目の前の靴っ子に身に付けさせたい力とは？



「一時間一時間の授業の中に教育のすべてがある」



「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進

## 【主体的な学び】

学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しを持って粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる「主体的な学び」が実現できているか。



学びを人生や社会に生かそうとする  
学びに向かう力・人間性等の涵養

生きて働く  
知識・技能の  
習得

未知の状況にも  
対応できる  
思考力・判断力・表現  
力等の育成

主体的な学び  
対話的な学び  
深い学び



## 【対話的な学び】

子供同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める「対話的な学び」が実現できているか。



## 【深い学び】

習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう「深い学び」が実現できているか。



平成20年度改定学習指導要領の  
枠組みや教育内容の維持  
知識の理解の質の向上